

研修科目	日本語指導者養成研修
分野	教育（幼児教育、日本伝統文化・スポーツ、継承教育等）
コース No.	NL15
研修種別	長期（91 日以上、9 か月以内）
上期・下期	上期
来日日	6/16
帰国日	12/16
提案団体	学校法人ムンド・デ・アレグリア学校
提案 URL	www.mundodealegria.org
現職・資格・知識	不問
経験年数	不問
日本語能力	不問
ポルトガル語・スペイン語能力	ポルトガル語或いはスペイン語いずれかができる
① 目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修員が南米の子どもたちに有効な「母語での識字指導法」、「日本語の指導法」を習得する。</li> <li>2. 研修員がそれぞれの国に合った「ひらがな表」「カタカナ表」を作成する。</li> <li>3. 自身のレベルにあったムンド校の日本語授業を受け、生徒の目線で日本語教育を考えると同時に、自身の日本語能力も向上させる。</li> <li>4. 習得した指導法を在日外国人コミュニティに実践し、その有効性を実感するとともに、在日コミュニティの識字学習へのモチベーションを向上させる。</li> <li>5. 研修員が在日日系人の子どもたちの教育の現状・問題・課題について理解する。</li> <li>6. 自身の研修での学びを発表する。</li> <li>7. 帰国後母国の日系コミュニティに貢献できるように日本語指導者を育成できる技術・ノウハウを学ぶ。</li> </ol>
② 成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年少者を対象とした「ひらがな」「カタカナ」「漢字」「日本語文法」指導法の習得</li> <li>2. 教材作成能力向上</li> <li>3. 自身の日本語能力向上</li> <li>4. 指導能力向上</li> <li>5. 在日日系人の子どもたちの現状把握</li> <li>6. 成果発表能力向上</li> </ol>
③ 計画（内容）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生徒としての体験—スペイン語圏の研修生はブラジル高校課程に、ポルトガル語圏の研修生はペルー高校課程に生徒として一定期間授業を受け、在日日系人の子どもたちが日本の学校に編入し、言葉がわからない状態で教科授業を受けなければいけないことがどれほど大変なことかを体験する。</li> <li>2. 研修生として母語授業見学—母語授業がどのように行われているのか見学（幼稚園クラスから高校クラス）</li> <li>3. 日本語授業受講—研修生のレベルに合わせたクラスで日本語学習</li> <li>4. 日本語授業アシスタント—日本語教師のアシスタント</li> <li>5. 教材作成</li> <li>6. 座学（指導法講義）</li> <li>7. 日本語指導法習得</li> <li>8. ひらがな・漢字指導実習</li> <li>9. 日本語指導法 OJT 及び実習</li> <li>10. 振り返りシートの作成</li> <li>11. 子どもたちの環境・教育についての問題・課題把握</li> <li>12. 研修成果発表</li> </ol>
本研修実施の意義	ムンド校の開発した「ひらがな・カタカナ・漢字の指導法」につ

<p>現地日系社会への裨益効果</p>	<p>いては、日本人教師と母語話者の日本語教師がタッグを組んで指導する必要がある。識字指導については、他の日本語指導法とは大きく異なり、ムンド校では2段階方式をとっている。第一段階では、母語話者の日本語教師が母語で識字指導を行い、その後、第二段階で日本人の日本語教師が読み書き指導を行うというものである。この方法をとれば、全く日本語がわからない者でも、初日から楽しく識字学習ができるのである。特に漢字学習においては、従来の指導法の場合、少しの日本語とひらがなが読み書きできなければ、漢字学習ができない。しかしながら、ムンド校の漢字指導法は、全く日本語がわからなくても、ひらがなを学習していなくても漢字学習が可能なのである。</p> <p>非漢字圏の学習者にとって漢字はとても難しく、あまりの難しさにすぐにあきらめてしまう者が多い中、この指導法は、とても有効である。本指導法は、ペルーの「ホセ・ガルベス校」の日本語学習者に実施し、有効性を実証している（平成25年度 助成対象者   事業・活動情報   公益財団法人 日本漢字能力検定協会 (kanken.or.jp)</p> <p>一方で、本指導法を実施するには、第一段階の指導を担う母語の指導者が必要となり、この指導者がなかなか育っていないのが現状である。日系サポーターがこの指導法を習得すれば、在日日系人コミュニティにおいて識字指導も可能となり、在日日系人コミュニティの識字学習の向上に貢献することができる。また本指導法は、南米で日本語を学ぶ子どもたちにも有効なため、日系サポーターが指導法を体感し、習得すれば、帰国後、彼らの母国の日本語教育レベルの底上げも可能となるばかりか、研修生が日本語指導者を育成できれば、日本語教師のすそ野を広げることできる。</p> <p>また、本研修においては研修者の日本語レベルを不問とした。なぜなら、本研修は、研修生の日本語レベルに応じて研修内容を組むことができるからである。日本語が全くわからない場合、まずは、研修生自らが母語による識字教育を受ける。そして、自らが学習者として経験したものをもとに、子どもたちへの識字指導をすれば、指導において日本人日本語教師以上の効果が期待できる。そして、日本語がある程度できる研修生には、ムンド校で実施している「年少者のための日本語教授法」を日本語教師から学ぶ。日本語レベルを不問としたことで、研修生の申請の門戸を大きく開くことが可能となる。</p>
<p>備考</p>	<p>ポルトガル語・スペイン語能力の項目ですが、「ポルトガル語或いはスペイン語いずれかができる」で申請します。</p>